



つばめ便り

つばめ創社

広報誌

令和3年9月号



施設長 高橋

コロナ禍のため、緊急事態宣言が発令されている中、2020 TOKYOオリンピックが終わり、障がい者が競技するパラリンピックが8月24日（火）より始まりました。私たちの事業所も障がいがある方が、それぞれの目標に向かって通所してきています。ところで精神の障がいのある方がスポーツ大会等に参加することは少ない状況です。理由は、障がい特性です。大勢の中にいることが怖いなど個々、参加するためにクリアすることがたくさんあるからです。パラリンピックで、アスリートを大いに応援したいと思います。半面、精神の障がいの方々も特性に考慮したスポーツ大会があったらなあと考える日々です。とは言え、パラアスリートが、競技後のインタビューで「皆さんのおかげで頑張ることができました」と応えるのを観て誰よりも何よりも本人の頑張り様は間違いないけれど、福祉に関わる私にとっても、胸が熱くなるものがあります。

【つばめの作業状況】



主任 滝澤

つばめ創社の作業について紹介したいと思います。今現在は、キーホルダーの点検・袋詰め、段ボールのバリ取り・糊付け、車の部品組み立て、縫製(エコバッグ・マスク)などです。この大変なコロナの状況下でも有難いことに作業があり、無くて休みになることが今のところありません。

つばめ創社では、最初に基本の作業手順を説明します。分からなかったり、できない人にはその人がどうしたらできるようになるのか考え、時には図や絵を使い可視化しながら相手の障害特性を考慮しつつ進めています。また、作業の中で重要視していることは、①報告（作業の進捗状況や結果を報告すること）②連絡（不良品が発生した際に必ずその事実を連絡すること）③相談（判断に迷ったり決断できない時に職員へ相談すること）です。さらに就労を考えている人には効率性、精度なども求めます。人によって課題が違うので一つ一つ丁寧に支援しています。今後、コロナ禍でどのような状況になるかわかりませんが、これからも安定した仕事量の確保など職員としての責任を全うできるよう努力していきたいと思っています。

活動報告

*新型コロナの為、外部での活動は控えています。事業所内で密にならないようにしてこのような状況でもできることを行いました。

7月14日(水) カレーライス作り

メンバーさん3名と職員2名でカレーライス作りしました。

今回は「レギュラー」「玉ねぎ抜き」「カレーの王子様」(甘口)の3タイプのカレーライス作りしました。

昼食として、利用者・職員で味わいました。

おいしそうに食べている方、早速おかわりをする方、辛いのが苦手そうな方もいました。

みんなで食べるカレーは、美味しかったです。



車両 (N-VAN Honda)、寄贈していただきました。

7月30日(金)、本田技研労働組合浜松支部の皆さまから最新の車を寄贈していただきました。つばめ創社では買い物の利用者を車で店舗に行く支援を行っていますが、既にある車が納品等で使用していることがあり行けないということがありました。また、職員が新規の作業支援で、新たな工場に出向く際、地図を片手にしていたため、運転に支障が出ていたこともありました。この車は、ナビゲーションがあるので安全運転が可能となります。利用者からは、カッコいいなあとか、広いなあという感想が聞けました。これからは、有効に使わせていただき利用者のためやつばめ創社の発展に繋げていきたいと思っております。有難うございました。



🌸 寄付のお礼 🌸

アルミ缶・古新聞・衣類等
寄付有難うございます。これからもお願いいたします。



NPO法人明生会 就労継続支援B型 つばめ創社
浜松市中区西浅田1-9-9 ☎053-442-6477

E-meil:hamatubame-syoty@hamamatu-meiseikai.com